

工程	作業手順			
前準備	<p>①濾過槽のストッパーのつまみを廻して外す。</p> 	<p>②濾過槽を引き出し、濾過カゴを取り出す。</p> 	<p>③2次フィルター(織目=2の刺繍有)をカゴにセットする。</p> 	<p>④さらに1次フィルター(パンチメタル=1の刺繍有)をセットして2重にする。</p> 
	<p>⑤活性炭濾過槽の敷布を広げ、四隅を槽の四辺の外側に△に出す。</p> 	<p>⑥敷布4隅を外に出しながら、濾過カゴをセットしてストッパーをかける。</p> 	<p>⑦濾過槽にホースで水道水を満杯に加え、活性炭を十分に湿らせる。</p> 	<p>⑧<必要に応じて>濾過槽の排水バルブを開けて排水する。</p> 
攪拌	<p>①剥離廃液を、スケールバケツで40ℓ測る。</p> 	<p>②剥離廃液を40ℓ、集水タンクへ入れる。</p> 	<p>③攪拌槽の排水バルブを閉める。(要注意)</p> 	<p>④集水タンクからポンプで剥離廃液40ℓを攪拌槽にあげる。</p> 
	<p>⑤中和凝集剤のペール缶から凝集剤をメジャーカップにとる。</p> 	<p>⑥メジャーカップで200g~400(0.5~1%)を計量する。</p> 	<p>⑦攪拌機のタイマーを7分にあわせ、攪拌スタートボタン(緑色)を押す。</p> 	<p>⑧攪拌の水流が大きくなったら、凝集剤をロートに投入する。(粉が舞うのでゴーグル着用)</p> 
	<p>⑨途中でロート内に凝集剤が詰まる事があるので、残っていないか？確認する。</p> 	<p>⑩タイマー(7分)が切れ攪拌が終わったら、リペア水をカップに取り出す。</p> 	<p>⑪カップを1~2分静置して、凝集(固液分離)を確認してpHを測定する。(pH計は使用前に校正する事)</p> 	<p>⑫pH5未満の時、アルカリオン水をビーカーにとり、攪拌槽に添加、2分攪拌して中和する(pH3.9で4L, pH4.5で2L程度)</p> 

濾過と凝集物の廃棄	<p>①最終でpHが5以上であることを確認して、攪拌槽の排水バルブを少しずつ開ける。</p>  	<p>②濾過カゴに少しずつ排水する。(一挙に排水すると、水圧で水抜けが悪くなる)</p> 	<p>③<水質検査に出す時>活性炭濾過槽の採水バルブを全開にして採水する。</p> 	<p>④フィルター内に溜まった凝集物から水が抜けるのに、2〜3時間程度かかる。</p> 	
	<p>⑤水が抜けたら濾過カゴを前に引き出し、凝集物が零れださないように1次フィルターを取り出す。</p> 	<p>⑥取り出した1次フィルターは、集水タンクの中に戻し、さらに水抜けさせる。</p> 	<p>⑦1〜2日は、凝集物から水が出るので、出た水は、活性炭槽を通して排水すること。</p> 	<p>⑧凝集物は、1週間自然乾燥させ保管、15kg程度で床ワ会へ着払い宅急便で送る(おう吐物凝固剤へリサイクルします。)</p> 	
	攪拌槽と活性炭の洗浄及び片付け	<p>①攪拌槽内に付着した泡を、ホースの水で洗い流す。</p> 	<p>②攪拌槽の排水バルブを全開し、2次フィルターに排水する。</p> 	<p>③水が抜けたら、2次フィルターを濾過カゴから外す。</p> 	<p>④2次フィルター内に残った固形物は、3-⑦の1次フィルターの中に加えるか、そのまま水抜け・乾燥させる。</p> 
		<p>⑤フィルターは、バケツで水洗いして付着した固形物を取り、洗濯機で洗濯する。(10回程度洗濯可能)</p>  	<p>⑥活性炭は、ホースで水を流して洗う。(活性炭が周りに飛び散らないように注意)</p> 	<p>⑦もし排水が白濁してきたら、濾過槽から活性炭をバケツに取り出し、水で洗う。(交換目安:1〜3年)</p> 	<p>⑧最後に敷布の四隅を内に折り畳み、濾過カゴを載せ、ストッパーをかけて片づける。</p> 